

年度 /AY	2024 年度実施
研究科 /Graduate School	文学研究科
課程 /Program	博士課程 前期課程
専攻・コース等 /Major, Course	人文学専攻 哲学専修
入試方式 /Admission Method	一般入学試験、社会人入学試験、外国人留学生入学試験
試験科目 /Exam Subject	専門科目
実施日（試験日） /Exam Date	2024 年 9 月 7 日
解答又は解答例及び出題意図 Answer or example of answer Intent of the question (試験問題自体を公開しない場合はその理由) (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>専門科目【1】</p> <p>出題意図：哲学・倫理学における基本的な語句の理解と、その背景となる基本的な哲学・倫理的知識を問うている。下記の3点を評価の観点とする。</p> <p>①語句の由来（誰の／どのような著作に現れる語句か）が適切に説明されているか</p> <p>②語句そのものの内容（意味）が適切に説明されているか</p> <p>③語句の評価（特定の哲学者・思想に占める当該語句の役割や位置付け、当該語句が同時代・後世の思潮にもたらした影響力や重要性、など）が適切に説明されているか</p> <p>専門科目【2】</p> <p>出題意図：英語の哲学文献に即した出題を通じて読解力を確かめるとともに、その読解の前提となる基本的な哲学・倫理的知識を問うている。</p> <p>〔設問1〕ブレンターノ 〔設問2〕ライル 〔設問3〕ヒューム</p> <p>〔設問4〕“intentional”という英単語は、日常的用法では「意図的」という意味で用いられるのが一般的であるのに対して、下線部③直前の「志向的对象」という語の「志向的」(intentional)の部分は、上記の日常的用法とは別物であるという趣旨を述べている。</p> <p>〔設問5〕明証性</p> <p>〔設問6〕①英語の文法事項を踏まえて訳されているか、②テキストの文脈に即して適切に訳されているか、③哲学の術語を踏まえた訳語が選択されているかを評価基準とする。</p>	

年度 /AY	2024 年度実施
研究科 /Graduate School	文学研究科
課程 /Program	博士課程 前期課程
専攻・コース等 /Major, Course	人文学専攻 哲学専修
入試方式 /Admission Method	一般入学試験、社会人入学試験、外国人留学生入学試験
試験科目 /Exam Subject	専門科目
実施日（試験日） /Exam Date	2025 年 2 月 8 日
解答又は解答例及び出題意図 Answer or example of answer Intent of the question (試験問題自体を公開しない場合はその理由) (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>専門科目【1】</p> <p>出題意図：哲学・倫理学における基本的な語句の理解と、その背景となる基本的な哲学・倫理的知識を問うている。下記の3点を評価の観点とする。</p> <p>①語句の由来（誰の／どのような著作に現れる語句か）が適切に説明されているか</p> <p>②語句そのものの内容（意味）が適切に説明されているか</p> <p>③語句の評価（特定の哲学者・思想に占める当該語句の役割や位置付け、当該語句が同時代・後世の思潮にもたらした影響力や重要性、など）が適切に説明されているか</p> <p>専門科目【2】</p> <p>出題意図：英語の哲学文献に即した出題を通じて読解力を確かめるとともに、その読解の前提となる基本的な哲学・倫理的知識を問うている。</p> <p>〔設問1〕ニコマコス倫理学 〔設問2〕快楽説（心理（心的）状態説も可、功利主義不可）</p> <p>〔設問3〕②卓越性 ③制作 ④実践 ⑤幸福（（人間的）繁栄、開花繁栄、等も可）</p> <p>〔設問4〕①英語の文法事項を踏まえて訳されているか、②テキストの文脈に即して適切に訳されているか、③哲学の術語を踏まえた訳語が選択されているかを評価基準とする。</p>	